

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2部3年	教育方法論	渡部 恭子	
サブタイトル	教育方法の多様性と影響力	単 位 数	2
授業形態	講義	出席要件	4 / 5以上
開講時期	前期		
到 達 目 標			
<p>本科目では、教育方法を吟味・選択・考案する思考力と実践力を身につけることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の3つの視点（目的・内容・方法）が相互に密接に関わり、影響し合うことを実感する。</li> <li>2. 教育メディアが多様化する動向を把握し、情報機器を含む活用例について考察する。</li> <li>3. 情報や自分の考えを的確に伝える方法を考え、試行する。</li> </ol>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本科目は、特に「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す科目である。現代において教育を営む上で、教育方法とは欠かせない要素のひとつとして考えられ、教育全体に大きな影響を及ぼす可能性を持っている。そのため、教育方法についての的確に分析し、検討し、実践する力は、教育者にとって不可欠な力であるといえる。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>導 入：振り返りに書かれた意見をまとめ、質問に回答しながら前回の授業内容を振り返る。</p> <p>展 開：適宜互いの考えを共有しながら実践し省察する。講義や試行を通じて、教育に携わる上で必要となる柔軟な思考力や、自己省察力、実践力を養う。</p> <p>まとめ：振り返りを記入することで、授業内容を自分の言葉でまとめる。感じたことや気づきを文章で表現することにより、自分の考えを客観視し、理解を深める。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：特に指定しない。</p> <p>教 材：必要に応じて、プリントを配付する。</p> <p>参考図書：『新しい保育・幼児教育方法』 広岡義之編著 ミネルヴァ書房 2013年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017年</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
<p>期末に提出するレポート、授業毎に記入するコメント（振り返りを含む）や提出物の内容を総合的に評価する。</p> <p>欠席者には課題が出され、指定された期日までに提出されなかった場合は減点する。さらに、その欠席分課題が期末レポート提出日までにはすべて提出されなかった場合、「授業での提出物」は評価できず0%とする。</p>		レポート	60%
		授業での提出物	40%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>授業の方針や評価方法については、初回の授業でより詳しく説明する。</p> <p>ノートの指定・提出はしない。</p> <p>wtnbkyo5@wa.seitoku.ac.jp</p>			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス：教育方法論を学ぶ意義とは (授業の方針と、教育における3つの視点を確認する)	教育方法が教育全体に及ぼす影響への理解
2回	計画の立案過程 (教育における計画・実行・評価・改善の流れを意識する)	教育実践を計画する視点とその重要性の理解
3回	記録の方法と工夫 (幼児教育の現場において記録が果たす役割を考える)	記録の重要性を理解し現場で工夫する力
4回	考察の試行 (教育活動を振り返るための視点と表現方法を探る)	教育活動を振り返り考察するための視点
5回	評価の方法 (教育活動を客観視するための視点と伝え方を探る)	教育活動を客観的に評価するための視点
6回	子どもの主体性 (主体的な活動事例を考察し、主体性について理解を深める)	子どもの主体性を具体的に想定する力
7回	子どもの対話 (対話が生まれる場面を想定し、対話を促す教育方法を考える)	子どもの対話を引き出す方法を考える力
8回	子どもの「深い学び」とは (遊びを通じたディープ・ラーニングを具体的に考察する)	子どもの学びの深さを意識する力
9回	教材の比較(1) 媒体のもつ特性 (絵本や紙芝居など、各教材がもつ特性を整理し比較する)	各々の特性を意識して教材を選択し活用する力
10回	教材の比較(2) 媒体による変化 (教材の特性により内容に影響が及ぶことを確認する)	各々の特性を意識して教材を選択し活用する力
11回	伝えるための基礎を学ぶ (伝えるために不可欠となる基本的な技術を確認する)	伝えるために必要となる基本的な技術
12回	伝える工夫を考える (「伝わる」方法の工夫を具体的に考え、自己改善を図る)	自分の課題に対する改善策を試行する力
13回	情報化社会と教育(1) 子どもの情報活用能力 (子どもの情報モラルを含む情報活用力の育成法を考える)	子どもと情報の関わり方を想定する力
14回	情報化社会と教育(2) 幼児教育現場における情報機器の活用 (幼児教育での情報機器の活用方法を分析し、考察する)	情報機器の特性を把握し活用を検討する力
15回	教育方法の多様性と影響力 (全15回の授業を振り返り、要点や気づきを整理する)	教育方法を客観視し、多角的に考える姿勢